

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆2025年は「感動の経営の再創造」

世界の流れに遅れているデジタルパワーを最適活用し、日本のモノづくりの強みであるアナログパワーを最大限に活かした「感動の経営」を目指していくことになります。そのためには、現代社会の「現場」と「原点」が求める「機能」に立ち返り、私たちは時代に適した新たな方法や手段を“再創造”していく必要があります。それは新時代にふさわしい長期的かつタイムリーな変化の創造と前進するための挑戦です。2025年も引き続き、BSOは新時代に向けた価値創造に尽力していきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(BSO西山)

◆生産企画の専門化が求められる時代

《日本産業の知恵を活かす生産企画》

道具の進歩により、現場での工夫が不要になり、人々の創造性が抑制されることがある。かつては、現場で知恵を絞り問題を解決していたが、現在ではクレーンを持ち込みスイッチを入れるだけで事足りる状況になった。このような変化に伴い、これからは「考える人」と「使う人」の役割の二極化が今後さらに明確化していく。日本産業には素晴らしい知恵があるが、その知恵を十分に生かす社会が築けていない原因は、生産企画の貧弱さにあると考える。我々の生産企画の専門分野が弱いために、技術や知識が十分に活用されていないのではないかと。 「生産企画」の分野では、これまで以上に専門性が求められる時代へと進んでいる。

《生産企画力のある会社が持つ特徴》

①売り値に合わせて商品を創る力

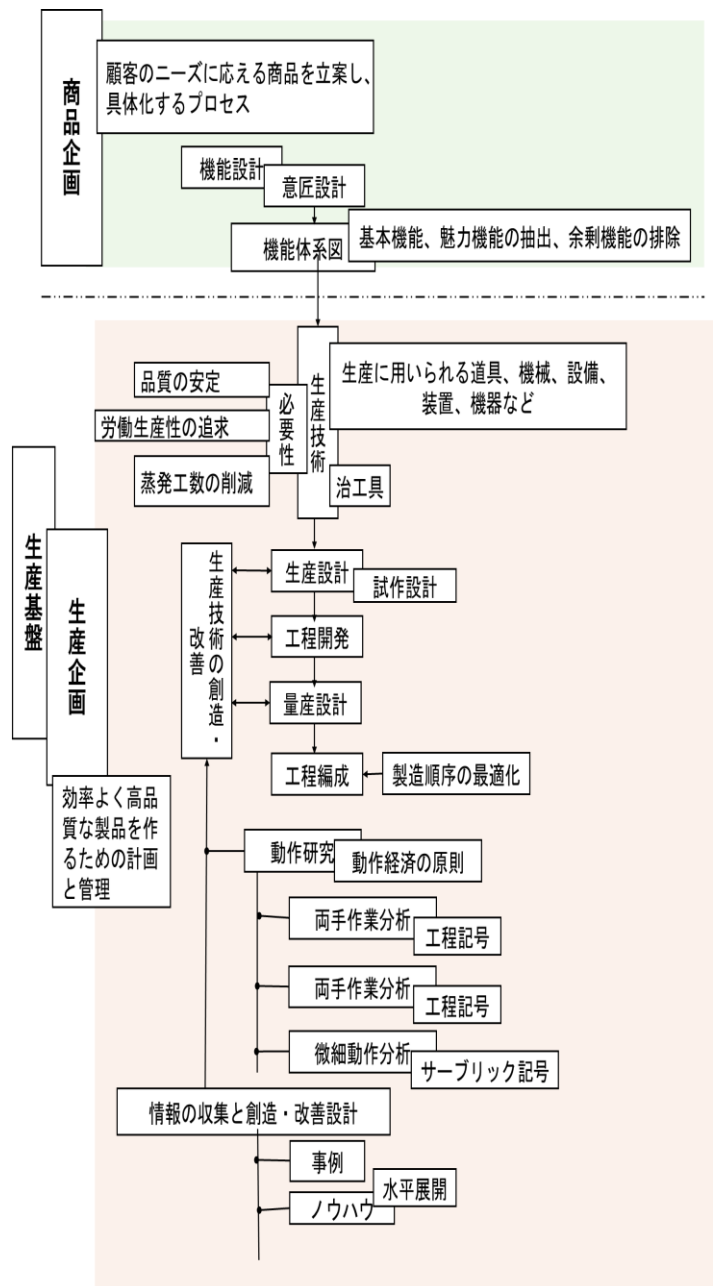
売れないものや値段に合わないものを作るのは簡単であるが、適切な値段設定で、かつ売れる商品を作り上げることは容易ではない。

② 素材を自由に使いこなす力

多種多様な素材を自在に使いこなすことができれば、さまざまな組み合わせ、独自の工夫を加えて活用できる。

③ 多様な加工や生産技術の活用力

過去の既成概念にとらわれず、幅広い素材や工法、生産技術に関する情報を組み合わせることで、個客のニーズに応える商品を創り上げる。この自由な発想と多様な技術の活用が、優れた生産企画を支えている。



詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々にご提供させていただくために発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）